





# 第二十一期第二回大会議 第四十五回総代会 開催

令和四年を迎えた今年の神道大会議並びに神道大教院総代会は、新型コロナウイルス感染者数が過去に無い数を記録し、当面の終息も見込めない状況の中、皆様の安全を優先して急遽書面会議としました。

資料には管長挨拶と説明を添えて審議をお願いし、議決権行使書を以て各項への賛否を戴きました。

議決権行使書は、大会議議員定員数十五名中十五名、総代会定員数十五名中十五名の提出を戴きましたので、大会議及び総代会は成立しました。

又、大会議議事録署名員に堤龍一郎師、富田信太郎師、

総代会議事録署名員に富田信太郎師、橋村美樹師の各議員を推薦し承認されました。

## 【大会議報告 並びに承認事項】

(一) 令和三年度本局・大教院概況報告の件

(二) 令和三年度大教院決算並びに令和四年度予算承認の件

(三) 令和三年度神道大教本局並びに特別会計決算承認の件

(四) 会計監査報告承認の件

## 【議題】

(一) 令和四年度神道大教院予算(案)並びに特別会計予算(案)審

議の件

(二) 令和四年度神道大教院行事計画(案)の件

(三) 創立百五十年記念大祭及び記念行事の件

(四) 月極駐車場運営変更の件

(五) 教令第五十四号(案)承認の件

○報告並びに承認事項(一)から(四)の件については

大会議員全員賛成で承認されました。

○議題(一)から(四)の月議案について、(四)の月

極駐車場運営変更の件においては賛成多数ではありま

したが、反対意見や慎重審議との意見もあり、来年度

の大会議に再度審議をお願いし保留と致しました。

その他の議案につきまして

二名の議員より否の回答がありました。直接に御意見を伺い説明を致しまして御理解の上、改めて賛成を戴きました。

議題(四)以外の審議事項につきまして、教則第一三二条に基づき出席者(提出者)の十五名の賛成を以て承認されました。

## 【神道大教院総代会 報告並びに承認事項】

報告並びに承認事項

イ・令和三年度神道大教院概況報告の件

ロ・令和三年度神道大教院決算報告承認の件

## 【協議事項】

イ・令和四年度神道大教院予算(案)審議の件

ロ・令和四年度神道大教院諸行事計画

○報告並びに承認事項、協議事項について、総代会出席者(提出者)の十五名の賛成を以て承認されました。



神道大教

菊池管長の言の葉集

『一ミリ前進』

日めくりカレンダー

(六十二日分のお話掲載)

菊池管長の愛情、優しさ、思いやりの一杯詰まった日めくりカレンダー

◎本局で御注文戴けます。

一冊 初穂料 一、五〇〇円

(送料別)



# 令和四年度 神道学院夏季研修会

令和四年度神道学院夏季研修会が八月二十二日から二十八日迄の七日間、本局を会場として開催されました。昨年に続きコロナウイルス感染防止の為、少人数にて十三名での開催となりました。

講師として、菊池管長、長元禮典長、堤・富田・大熊各典礼、橋村典礼補、菊池重忠主事の七人によって講義・祭式作法が教授されました。

研修期間は朝八時より受講生全員にて朝拝と国旗掲揚



集合写真



長元禮典長の祭式講義

を行い、午前九時より九十分の講座を二講座、午後から祭式作法が約四時間に亘り教授されました。午後五時三十分より夕拝・国旗降納・掃除を行い、午後六時三十分の一日の研修を終了という過密な日程でありましたが、受講生の学ぶ意欲に満ちた研修となりました。最終日には、受講生全員で終了奉告祭を行い、修得の成果を神前に捧げました。続いて閉講式では菊池管長より修了証が授与され、受講生を代表して、村上和徳



終了奉告祭 献饌の儀



富田典礼の大祓講義

師より答辞が述べられ、教歌奉唱の後、閉講式を終了しました。  
【研修会御厚志の御礼】  
今回の研修にも、役員・教師大勢の方々より賛助の金一封や数々の差入れを賜り、お陰をもちまして無事に終了出来ました事に、厚く御礼申し上げます。

## 受講生答辞

本日ここに、令和四年度神道大教神道学院夏季研修会の閉講を迎えるにあたりまして、受講生を代表し一言お礼申し上げます。

今年の研修会にはコロナ禍

の時期にも関わらず全国よ

り十三名が参加し、暑さ厳

しい中早朝より夜半まで分

刻みの厳しい一週間を乗り

越え、無事今日の日を迎え

る事が出来ました。これも

一重に菊池管長先生を始め、

日々の生活や健康を支えて

下さった皆様、そして何よ

り常に我々を教え導き励ま

し続けて下さった講師の先

生方のお陰と心より感謝申

し上げます。

この一週間の事を思い起こ

せば、厳しいお顔で御指導

されている先生方も実は私

ども受講生の明日を思い、

心を鬼にして叱って下さる

事がひしひしと感じられ、

有難い気持ちで一杯になり

ました。また、私の様な初

参加の者は体力的な不安と身体の痛さで心が折れそうになりましたが、同じ受講生の方々からの温かい励ましのお言葉や、御協力に涙がこぼれそうになった事が一度や二度ではありませんでした。

この様な思い出と共に、この場所で集う事が出来ました皆様方との御縁に感謝しつつ、御神殿に額づき御奉仕させて戴いた喜びを胸に、より一層の研鑽を重ねていく所存です。

何卒、今後共、御指導御鞭撻下さいます様宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、神道大教の益々の御発展と御指導戴きました諸先生方、受講生を始め研修会に携わられた皆様方の御健勝と御多幸を祈念致しまして、言葉

足らずではございますが、答辞の言葉とさせて戴きます。

令和四年八月二十八日

受講生代表 村上和徳



# 九星気学入門

## 河図と洛書

「河図(かど)」は、古代中国で黄河から現れた龍馬(りゅうま)の背の旋毛によって、易の原理である数と配置を読み取ったものです。龍馬には、尾の方に「一の奇数」、頭の方に「二の偶数」、左横に「三の奇数」、右横に「四の偶数」が現れていました。

これが奇数・偶数の発見につながり、この数と配置から、北の子の「一」に始まり、南の午の方に偶数の「二」、東の卯の方に奇数の「三」、西の酉の方に偶数の「四」を配した河図の図になったのです。

さらに、この図に、北に「六の偶数」、東に「八の偶数」、南に「七の奇数」、西に「九の奇数」が配置され、中央に「五の奇数」と「十の偶数」がそれぞれ配置されました。したがって、「河図」の図には、一から十までの数が配置されているという事になります。「河図」が発生

してから八百年後に発見されたのが、いわゆる「洛書(らくしょ)」です。

夏(か)の時代、黄河の支流である洛川の治水工事の際に、この川の水底から亀の様な姿の死骸、後に神龜(しんき)と称する遺骸が現れました。

この神龜の頭の方には耳が付き、甲羅には亀甲紋のかわりにイボ状の丸い玉の様なもの、凹凸にふくれ上がり、その表面には縦に黒い線らしきものが浮き上がって見えませんでした。

イボ状のものは上部に九点、下部に一点、中央に五点、左に三点、右に七点、肩に二点と四点、足に六点と八点あり、夏の禹王(うおう)は、その数と配置から天の啓示を得て、八卦の象を読み取ったのです。

これが、北に「一」を配し、東に「八」、東に「三」、東南に「四」、南に「九」、西南に「二」、西に「七」、西北に「六」、中央に「五」と、それぞれ一から九までの九つの数を配した図となりました。これを「洛書」と呼び、後天定位の元になったといわれています。

# 四緑木星

## 【基本的性格】

爽やかな人柄で、周囲の人の心を和ませる四緑木星生まれ。その場に応じた気配りができ、人に尽くす社交派の人が多いでしょう。

物腰が柔らかく、しかも純情でチャームングですから、おのずと交際は広がり、人から愛され、信用や名誉も自然についてくる恵まれた性格です。

反面、その苦勞知らずが、落とし穴になる事もあります。油断すると移り気、横着、自惚れ、優柔不断など、不安定な一面が顔をのぞかせます。

とくに、迷いは禁物。「二二一番」という時にぐずぐずしては、せっかくの好機を逃しかねません。決断力を磨くことが成功の秘訣です。また、人が良すぎて、相手に合わせてしまう事も。自分の意見を主張する事も必要でしょう。

## 【仕事の特徴】

順応性と協調性のある四緑木星の人は、どんな環境にもすぐなじんで、分野を問わず幅広い活躍ができるでしょう。先輩や上司にも好感を持たれ、引き立てられます。

とくに、人当たりが良く社交的な性格から、営業職に就くと実績を上げる事ができます。また、調整能力に優れ、ファッション、旅行、交通、運送関係など、渉外関係の仕事で能力を発揮します。

ただ、人任せな面もありますから、責任ある立場になったとき、決断力や指導力が問われます。積極的なので、行動力を生かせる職業に向いており、事務系や工業技術系には向きません。

四緑木星の適職は、俳優、ヘアデザイナー、スタイリスト、ブティック経営、貿易業、船舶業、ドライブ、ツアーコンダクター、運送業、製材製紙業、大工、建具屋、郵便局員、営業一般などです。

おだやかで洗練された雰囲気ですが、恋には情熱的なところがあり、好きになったら一直線。「遊びの恋」が苦手なタイプです。

男女とも、相手にやさしく、思いやりのあるパートナーとなる人。友情から始まり、恋愛をして結婚

## 【恋愛の特徴】

にゴールインというパターンが多いでしょう。

反面、誰とも気軽につきあえるため、周囲から八方美人と見られる事も。親切が過ぎて、変に誤解される傾向もありますから注意してください。

また、優柔不断な一面が出て、肝心なときに道を決めかねる事が多いのも四緑木星の人の特徴です。迷い心にとらわれていると、大事な本命や婚期を逃がす危険もあります。

結婚後、男性は仕事面がさらに充実するでしょう。女性は、結婚するには最適な人で、理想の妻、母となつて、幸せな家庭生活を送ります。

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』  
株式会社 神宮館 発行



著者 歴作家  
大教正 井上象英



# 令和四年 秋分霊祭齋行

九月二十一日、長月の月次祭が神殿にて斎行され、続いて生花が飾られ海山野の神饌物が供えられた御霊殿にて、秋分霊祭を斎行致しました。



献饌の儀

斎主祭員と共に、祥月御命日を迎える御家族と参拝者が着床。始めに斎主一拝、献饌の儀、斎主が祥月祭並びに秋分霊祭々詞を奏上し、長月祥月命日の御霊を、お一方ずつ読上げられ、御霊殿に御奉斎の御霊の安寧をお祈り致しました。続いて、橋村美樹師による

慰霊の舞が奉奏され雅楽の調べと共に美しく舞う姿に御霊もお喜びになられた事と思ひます。

続いて、婦人会有志が神教歌の先導を務め、祭員、参拝者が心を一つに奉唱し、御霊をお慰め致しました。続いて、斎主及び祥月命日を迎える御家族と御参拝者が順次玉串を奉奠。

その後、撤饌の儀、斎主一

拝と続き、管長が参列皆様

への御礼の挨拶と、御講話

をされました。

弥栄殿での直会は御希望者

のみの参加とし、御参拝の

皆様には撤下品の品々をお

持ち帰り戴き、滞りなく祭

典は終了致しました。



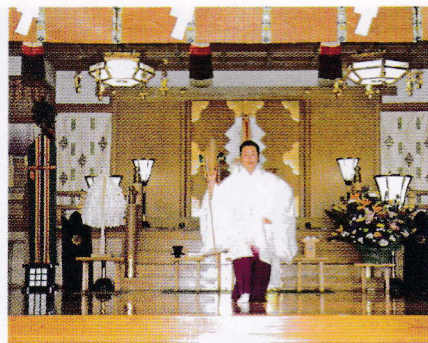
管長祭詞奏上



管長挨拶



玉串奉奠



慰霊の舞

## 『伊豆修善寺あさば』 邸内社秋季大祭齋行

平成三十年九月十九日、『あさば』旅館の増築、能舞台の修繕等大事業の中で、邸内社改修移築工事を竣工し、遷座祭が斎行されました。以後、この日を記念し

大祭日とし、本年も菊池管長齋主の元、大熊部長が祭員となり厳粛に斎行されました。

『あさば』は現在の当主浅羽一秀氏で十代、三百五十年以上に亘り温泉宿として受け継がれています。

修善寺は千二百年前に弘法大師が創建された寺院「桂谷山寺」に由来し、鎌倉時代初期に修善寺と名称が定められ、この地も修善寺と呼ばれる様になりました。

弘法大師が開いた「独鈷乃湯（どっここのゆ）」が修善寺温泉の発祥の湯となり、伊豆最古の温泉と言われています。

尚、修善寺曹洞宗開山の為、

派遣された隆溪繁詔弾師の随将浅羽弥九郎幸忠がこの地を訪れました。その際、堂守の傍ら門前に開いた宿坊に始まり、以後、浅羽安右衛門が温泉宿を興して以来現在に至っています。

又、敷地内に建立する能舞台「月桂殿」は、江戸時代に造られた物で、明治初期に現在の敷地に移築されました。

四十年以上前より、この能舞台を中心に「修善寺芸術紀行」と題し、日本の伝統芸能である能楽・狂言・新内流し・琵琶楽等当世一流の師を招き、季節に応じた講演を行っています。



管長祝詞奏上



# 令和四年度第一期 第三回松戸市教師研修会

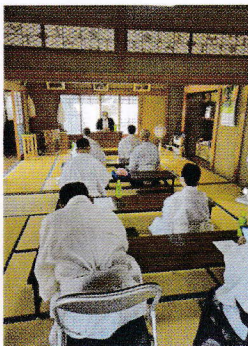


講師・受講生の集合写真

九月二十六日から二十八日迄の三日間、千葉県松戸市鎮座の香取駒形神社にて第三回松戸市教師研修会が開催されました。新型コロナウイルス対策として、齊藤均師より体表面温度自動測定器の設置や、マスク、消毒液が十分に準備され、更に受講予定者は研修前から体調管理を徹底しての開催となりました。今回の研修会は講師として菊池管長、長元禮典長、大熊典礼が担当し、二十六日

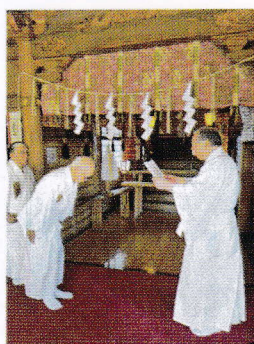


長元禮典長の総合祭式講義



菊池管長の講話

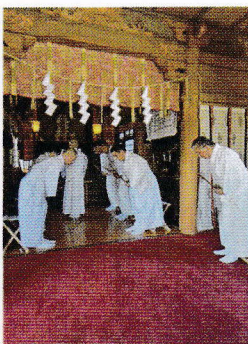
午後一時より開講式を行いました。初日の講義は大熊典礼による大教教則、続いて基本祭式の講義が行われました。二日目は基本祭式や所作の講義、終了奉告祭の習礼をはじめ、菊池管長による講



修了証授与



修了奉告祭



話が行われ、長時間にも拘わらず、緊張感を緩めず一人一人が集中して受講されました。最終の二十八日、奉告祭の諸準備や所役の最終準備を行い、午前十時より香取駒形神社御神前にて修了奉告祭を斎行されました。その後の閉講式では菊池管長より挨拶と講評、国家斉唱と続き、参加者八名が無事に研修会を終了しました。

## 比叡山宗教サミット

猛暑の続く八月四日、管長先生と共に、天台宗の聖地にて開催された「比叡山宗教サミット」に参加をさせて頂きました。今年は三十五周年の記念大会と言う事もあり、世界中の宗教者八百名が参集し、ライブ配信では二千名を超える視聴がありました。「気候変動と宗教者の責務」を主題に式典が開催されましたが、小生が今まで経験した事のな雷と豪雨により、途中閉会となりました。これだけ多くの宗教者の祈りが一つになっても、自然の怒りを鎮める事が出来ませんでした。神道は自然と共存共栄しながら安寧を祈ります。改めて大神様の与え給うた自然の偉大さと人類の無力さを感じました。まだまだ精進しなければなりません。最後に平和の鐘が打たれる中参加者全員で祈りを捧げ、散会となりました(長元祥泰)

## 株式会社丸昌大祭

株式会社「丸昌」では、平成三十年十月三日に東京都中央卸売市場豊洲市場への移転を記念して、毎年十月三日直前の日曜日に感謝祭の大祭を斎行しています。今年も菊池管長齋主の元、大熊部長が祭員となって、鳴動神事等が厳粛に執り行われました。小川浩司社長宅に移り、自宅神棚でも盛大な大祭が斎行されました。

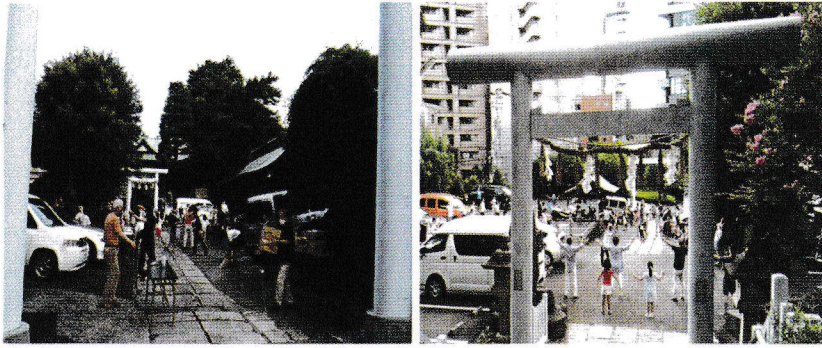


管長と小川氏御家族



鳴動神事





夏休みラジオ体操

南筈町会 夏休み  
子供ラジオ体操

本局は南筈町会に属しており、毎年夏休みにはラジオ体操が境内で開催されています。本年は八月二十五日から三十日の六日間実施。コロナウイルス感染予防を十分に講じ、子供からお年寄りまで町内の人達が集まり身体を動かししました。

管長の動向 (対外行事・事務局)

- 七月 二十五日～三十日 南筈町会夏休み子供ラジオ体操開催 (大教院境内)
- 二十七日 神道大教院総代会開催 (書面審議)
- 二十八日 神道大教院大会議開催 (書面審議)
- 八月 一日 月首祭
- 三日 管長教場訪問 京都府大憲天祖神社 (管長・総監)
- 四日 比叡山宗教サミット参加 滋賀県 (管長・総監)
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭齋行 (大熊部長奉仕)
- 十五日 中旬祭
- 十六日 「大教院讃歌」 シングルCD完成・奉納
- 二十一日 月次祭
- 二十二日～二十八日 神道学院夏季研修会開催
- 九月 一日 月首祭
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭齋行 (総監・菊池主事奉仕)
- 教派神道連合会理事会出席 (管長・大熊部長)
- 十五日 中旬祭
- 十九日 伊豆市「修善寺あさば」邸内社大祭齋行 (管長・大熊部長奉仕)
- 二十一日 月次祭・秋分靈祭齋行
- 二十六日～二十八日 松戸市教師研修会開催 (管長・総監・大熊部長)
- 二十九日 神道六教派特立百四十年記念式典参列 (管長・総監・大熊部長)
- 十月 一日 月首祭
- 二日 「(株)丸昌」豊洲市場大祭齋行 (管長・大熊部長奉仕)
- 十一日 教派神道連合会理事会出席 (管長・大熊部長)
- 命の重さを考える12 公開講演会 (教派連主催) 於大教院
- 十三日 四本木稻荷神社秋季大祭齋行 (管長・総監・大熊部長奉仕)
- 十五日 中旬祭
- 十八日 有栖川宮・高松宮展墓 (管長・大熊部長)
- 十九日 創立百五十年実行委員会開催 (本局)
- 二十一日 秋季大祭齋行

墓石・記念碑・鳥居・一般土木

有限会社

# 富士光

代表取締役 小泉輝人

〒175-0092  
東京都板橋区赤塚 1-10-7  
携帯 090-1434-2088

創業 明治以前

各種御神符・守札 その他授与品全般

湊御神符奉製所

# 株式会社 湊

伊勢市神宮会館前 (〒516-0025)  
TEL (0596) 22-2442 (代表)  
FAX (0596) 28-8445  
info@ise-minato.co.jp  
http://www.ise-minato.co.jp

御装束・祭具・神具・授与品

有限会社

# 岡本装束店

〒621-0018  
京都府亀岡市大井町  
小金岐3丁目35番地  
TEL 0771-24-5085  
FAX 0771-24-5095

西暦五七八年創業 社寺建築

# 剛 金剛組

0120-054-731

金剛組 検索



# 菊池管長の教場訪問

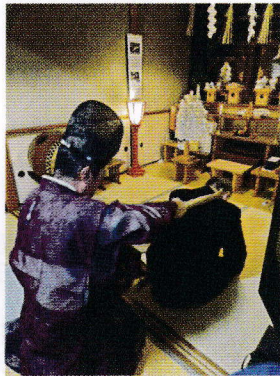
## 神道大教 大憲天祖神社

京都市右京区太秦中筋町に鎮座する「神道大教大憲天祖神社」に菊池管長と長元総監が教場訪問をしました。大憲天祖神社は、大正十一年初代古戸喜壽氏により「神道下鴨教会」として開かれたのが始まりで、二代目竹園フジ師により発展し、昭和二十八年五月宗教法人法施行にともない「神道大教大憲天祖下鴨支教会」と教場名を改め神道大教所属教場となりました。



大憲天祖神社 御神前

その後、昭和五十七年堤龍一郎師の祖母堤清美師が教場を京都下鴨より移設され「神道大教大憲天祖百合ヶ丘教会」と改名し三代目として引き継がれ布教・教化に努められました。現在四代目として受け継がれている堤師ですが、祖母である前教会長から引き継



正式参拝

がれた後は、様々な苦難や事情により止む無く教場を閉鎖する事となり、暫くの間うづめ教会所属教師として活動されていきました。本局で約十年修行奉仕の後、教場を復活され名称を「神道大教大憲天祖神社」と改め代々受け継がれている鳴動神事や護摩祈祷を行い布教活動に専念されておられます。堤龍一郎宮司は、神道大教に於いては宣教部長、大會議議員、神道大教院典禮として務め、神道大教発展の為に活躍戴いております。今後も神道大教教師として、益々の御活躍を期待してまいります。



左から長元総監、堤宮司、菊池管長

# 教内異動

## 【教師補命】

○補 権少講義

大阪府・村上和徳

○補 権訓導

千葉県・金井正

○補 権訓導

北海道・小泉匠

○補 権訓導

千葉県・杉浦裕之

○補 権訓導

千葉県・橘俊郎

(各令和四年八月二十八日付)

## 【教師昇級】

○補 少教正

東京都・永井栄子

(令和四年八月二十八日付)

## 【辞職者】

○千葉 天明道心小教会

(属)

権訓導・沖田基次

(令和四年九月十六日付)

※令和四年九月三十日現在

## 【お詫びと訂正】

令和四年七月二十一日盛夏号の掲載にて誤りがございました。

お詫びして訂正致します。

十一項三段目

(誤) 大阪市大平寺

(正) 大阪市太平寺

(誤) 吉村秀昭

(正) 芳村秀昭